

NHPA050-1F

膜分離活性汚泥法（MBR）用 浸漬膜モジュール

東レのMBR用膜モジュールNHPAシリーズは、現行のNHPシリーズと同じく、膜エレメントを薄くして柔軟性を高め、設置面積あたりの膜面積を増やしています。また、NHPAシリーズはNHPシリーズの運転条件を維持しながらも、水量・高さ・幅などの様々な状況に合わせてモジュールの構成を調整可能です。

平膜エレメント		単位
型式		TSP-50080
公称孔径	μm	0.08
材質	膜	PVDFおよびPET不織布
	ノズル	PE
有効膜面積	m ²	0.7
寸法（全幅 × 全高 × 厚さ）	mm	477 × 800 × 2
重量（乾燥時 / 湿潤時）	kg	0.25 / 0.5



図：NHPA050-1F

モジュール

型式	エレメント 装填数 (枚)	カセット構造	膜面積 m ²	外形寸法 (幅×長さ×高さ) mm
ECS035 (カセット)	50	—	35	485 × 440 × 818 ⁽¹⁾
NHPA050-1F	50	(1列1段) × 1個	35	738 × 615 × 1,404

(1) 集水管を除いた寸法

重量 (乾燥時) kg	エアレーション ブロック	カセット / エレメントブロック	モジュール
ECS035 (カセット)	—	18	—
NHPA050-1F	20	50	70

用途

下水処理・工場等での廃水処理・中水再利用などの幅広い用途にご使用頂けます。

NHPA050-1F

膜分離活性汚泥法（MBR）用 浸漬膜モジュール

散気管タイプ		散気量 ⁽¹⁾ NL/分/モジュール ⁽²⁾
微細散気管		330～430 (標準 430)
(1) ブロワなどの空気供給装置は標準運転条件下で設計して下さい (2) 0℃、101.325 kPa (1 atm)での空気量		
運転条件		
水温	5～40 °C	
pH	5～10	
最大MLSS濃度	18,000 mg/L	
膜間差圧	薬液洗浄：同一流量において初期安定圧力より 5 kPa 上昇するまでに実施 最大許容：20 kPa 以下	
薬品洗浄時供給圧力	10 kPa 以下	
洗浄薬品および濃度	次亜塩素酸ナトリウム：2,000～6,000 mg/L (10 < pH < 12)	
	シュウ酸：0.5～1.0 wt% / クエン酸：1.0～3.0 wt%	
材質		
フレーム	304SS (316SSはオプション)	
集水管	PP	
散気管	EPDM/PVC/SUS	
配管接続		
集水管	ANSI 1 1/2 インチ フランジ (カセット1段あたり1ヶ所)	
散気管	NPT 1 1/4インチ ねじ込み (片端1カ所)	

* 詳細については弊社までお問合せください。

東レ株式会社
〒103-8666 東京都中央区日本橋室町2-1-1 日本橋三井タワー
メンブレン事業第3部
☎ 03-3245-4539 ✉ お問い合わせ

[in](#) LinkedIn [▶](#) YouTube

water.toray

東レは、本情報の適用から得られる結果、あるいは他社製品と併用した場合の東レ製品の安全性または、適合性についてなんら責任を負うものではありません。お客様の使用目的に対し、本製品の安全性および適合性を判断するために、お客様自身でテストされることをおすすめします。
本データはすべて、技術的修正もしくは製品の変更によって、予告なく変更されることがあります。

2 of 2